

チリトテチン

【出てくる人】 旦那・近所の梅さん・近所の竹さん

ある日、梅さんが旦那の家に来ました。旦那は梅さんに料理を出しました。梅さんは料理を食べて、「お腹いっぱいです。本当に幸せです」と言いました。梅さんは旦那が出した料理をいつも「おいしい、おいしい」と言って食べます。

竹さんが旦那の家に来たときも、旦那は料理を出します。でも、竹さんはいつも「おいしくない」とか「これは知っている」とか、嫌なことを言います。旦那は梅さんに竹さんのことを話しました。

その日、旦那の家に、腐って小さくなった豆腐がありました。豆腐は黄色くなって、青や赤のカビが生えていました。旦那は腐った豆腐にしょうゆとわさびを入れて混ぜました。そして、それを箱に入れて、「長崎名物 チリトテチン」と書いた紙を貼りました。

梅さんが竹さんを旦那の家に呼んで来ました。旦那は竹さんに「長崎名物 チリトテチンを知っているか？ 食べてみるか？」とたずねました。竹さんは「もちろん知っています。大好きです。食べます」と答えました。

「チリトテチン」は臭くてまずいです。でも、竹さんは我慢して食べました。旦那は竹さんに「チリトテチンはどんな味だ？」と聞きました。

竹さんは「うーん、豆腐の腐ったような味です」と答えました。